

平成24年度(第56期)  
**第2四半期決算説明資料**

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)



平成24年11月27日

## 目次

### 1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 収益関連指標	5
(5) 総資産・純資産	6
(6) 配当政策	7
(7) 利益配分の方針	7

### 2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	8
(2) 諸施策	9
(3) 業績の見通し	10

# 1. 決算の概況

## (1) 損益計算書、貸借対照表の概略(連結)

(単位:千円)

	平成23年度 中間	平成24年度 中間	前期比(%)
売上高	6,329,233	5,467,847	86.4
営業利益	387,680	△25,495	—
経常利益	382,739	△6,947	—
四半期純利益	472,192	4,776	1.0

(単位:千円)

	平成23年 中間期末	平成24年 中間期末	増減
資産	10,608,250	10,929,505	321,255
負債	5,034,928	5,319,732	284,804
純資産	5,573,322	5,609,772	36,450
負債純資産	10,608,250	10,929,505	321,255

2

## (2) 事業の取り組み内容について

### 営業

- ・当社の強みでもある高効率モータや低消費電力ポンプの販売促進を行う。
- ・マイクロバブル発生装置などのユニット製品の拡販を行う。

### 製造、購買

- ・三相電機グループ会社の生産拠点を見直し、生産効率を高めていく。(新宮工場の稼働)
- ・鉄鋼材や非鉄金属、原油価格が大きく変動する中で、グローバルな部材の調達や国内外の生産拠点のすみ分けで、トータルコストダウンを図る。

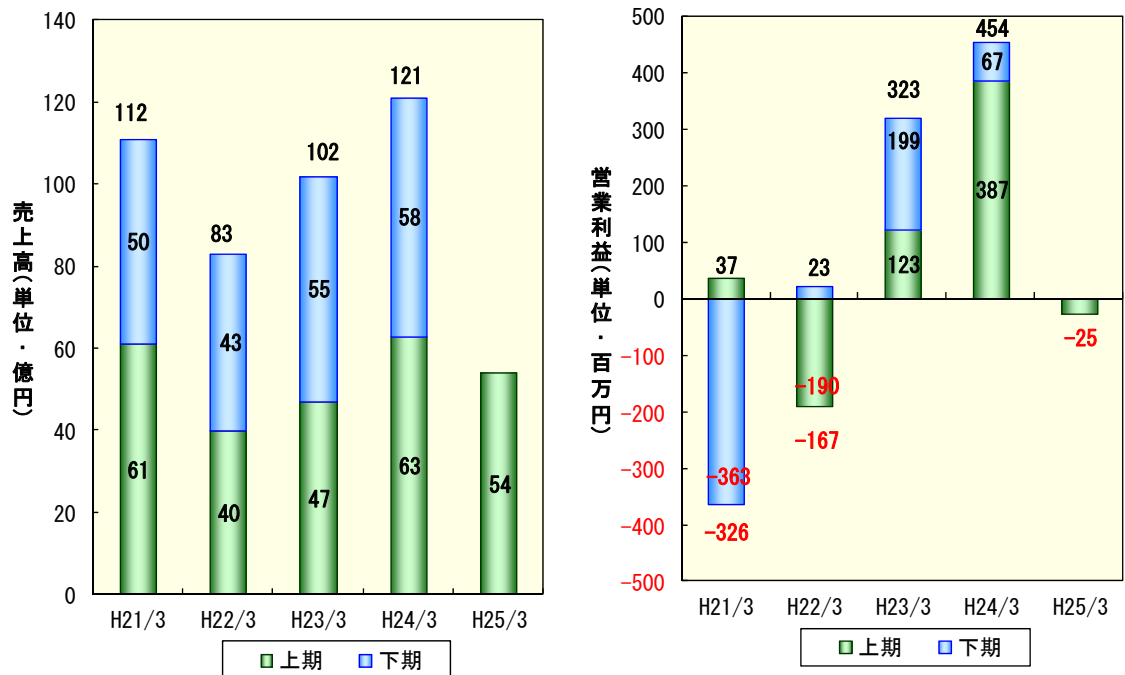
### 研究開発

- ・環境にやさしい省エネ、低騒音の製品を開発  
(IE3(プレミアム効率)対応の高効率モータ 他)
- ・新規用途に対応した製品の開発(洗浄用DCポンプ 他)

3

### (3) 売上高および営業利益の推移(連結)

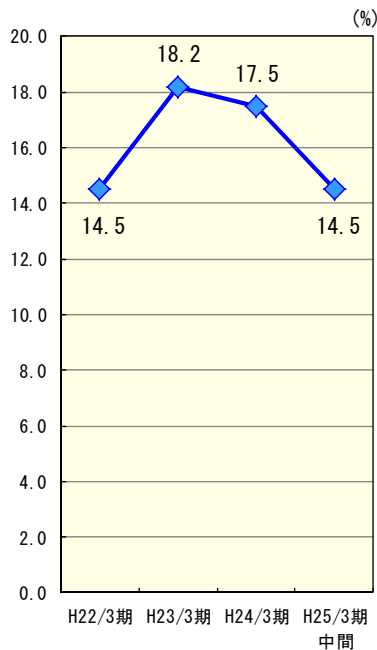
- ・売上高においては、昨年下半年から低調な受注状況が続いたことにより、前年同期比では大きく売上高は減少
- ・利益面においては、売上高の減少要因や新工場稼働に伴う移設費用の計上などにより、営業損失となる。



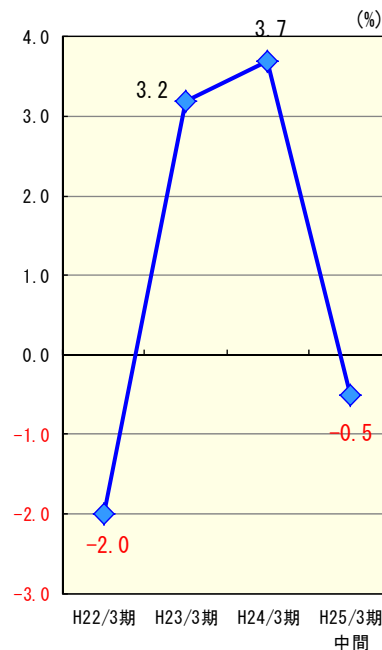
4

### (4) 収益関連指標(連結)

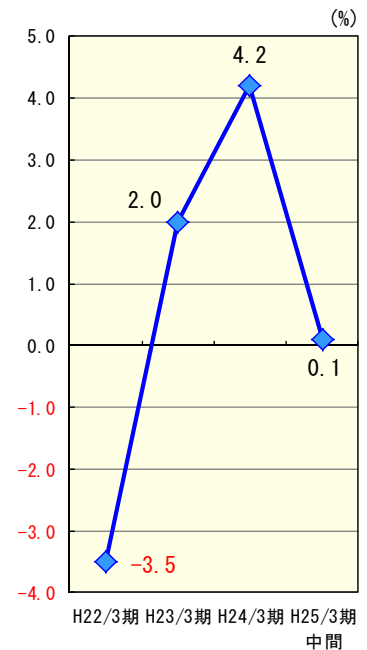
#### ◆ 売上総利益(率)



#### ◆ 営業利益(率)



#### ◆ 当期(四半期)純利益(率)

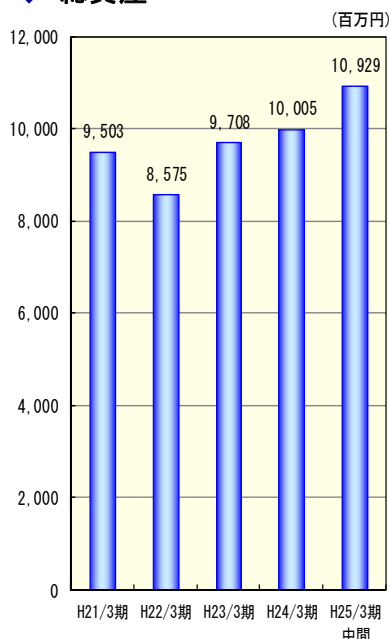


5

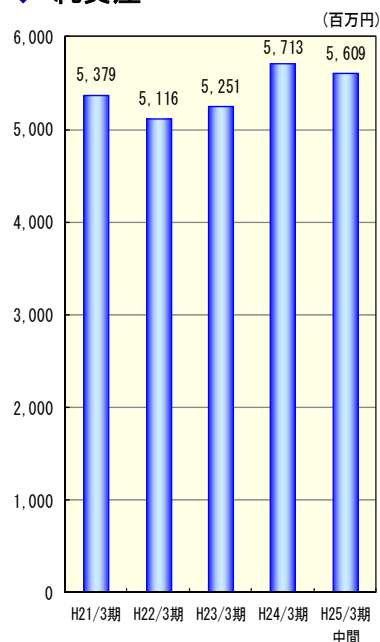
## (5) 総資産・純資産(連結)

- ・資産については、主に新工場の取得により有形固定資産が増加
- ・負債については、主に新工場建設に伴う長期借入金により固定負債が増加
- ・純資産については、主にその他有価証券評価差額金（評価価格の減少）および、利益剰余金が減少したことにより減少

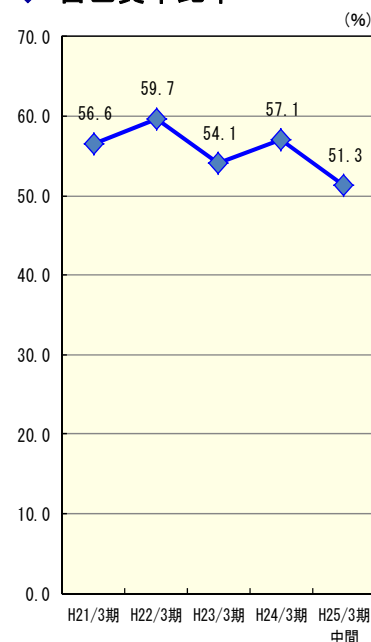
### ◆ 総資産



### ◆ 純資産



### ◆ 自己資本比率



6

## (6) 配当政策

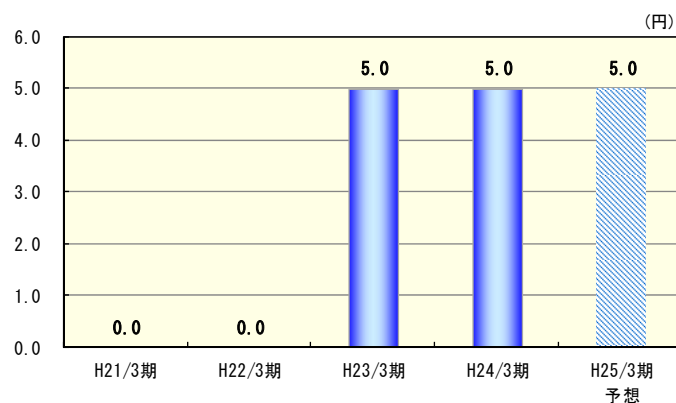
利益配分については、株主および一般投資家への企業責任の重大性を十分に認識し、業績の伸長を勘案し極力配当性向を高め、かつ維持しながら弾力的な利益還元を行うとともに収益力の向上を目指し、内部留保金についても有効投資に活用し、収益向上に取り組んでいます。

## (7) 利益配分の方針

平成24年3月期の配当については、1株につき期末配当金5円00銭とさせていただきます。

次期の配当については、前期と比べると減収減益が見込まれますが、安定的な配当を考慮して1株につき年5円00銭を予定しております。

### ◆ 配当金の推移



7

## 2. 今後の取り組みについて

### (1) 経営環境

#### 経済状況

- ・国内では東日本大震災の復興需要に期待がもたれるものの、欧州や中国など海外経済の減速により、景気の先行きは依然として不透明感が払拭できない状況で推移するものと考えられる。

#### 業界動向

- ・家電業界では、世界経済の低迷により、当社グループが関係する空調機器の需要も伸び悩む。
- ・工作機械装置業界では、欧州や中国などの外需に陰りがみられ、不透明な受注状況となる。
- ・住宅設備関連業界では、被災地での復興需要が考えられるが、その回復速度は遅く引き続き低調な受注状況が続くものと考えられる。
- ・半導体製造設備業界では、低調な状況が続くものの、一部で回復の兆しが見られる。

8

### (2) 諸施策

#### 営業

- ・当社グループの優位性がある、高効率で低消費電力のモータ・ポンプを中心に拡販を進めていく。
- ・新規用途の提案で新市場を開拓していく。

#### 製造、購買

- ・新生産管理システムの運用により、短納期生産体制の確立を図り、顧客ニーズに応える。
- ・部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。
- ・新宮工場の稼働により、生産性の向上並びに物流の合理化を更に進めていく。

#### 研究開発

- ・低消費電力のDC(直流)モータおよびポンプのバリエーションを増やし、市場ニーズや新たな用途に応える。
- ・国際規格(IE2、IE3)に適合した高効率モータのシリーズ化を進め、既存市場での優位性を高める。

#### 品質

- ・製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。
- ・受入検査の厳格化により組立部門への不適合部品の混入を防ぎ、品質効率を高めていく。

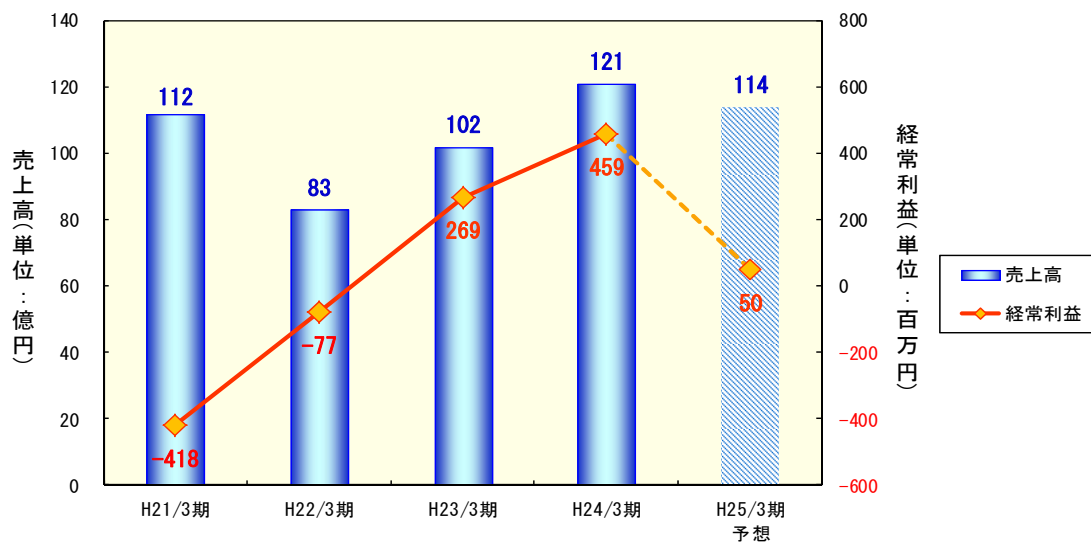
9

### (3)業績の見通し(連結)

連結：売上高について一部の業界では受注増加が見込まれるが、総じて低調な状況が続くことが予想され、下半期の受注は上半期をわずかに上回る業績が見込まれる。

利益面について、前述した売上高の見通しにより、前年同期比で大きな減益が予想される。

#### ◆ 売上高・経常利益



10

## おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成24年11月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

### お問い合わせ先

三相電機株式会社  
統括管理部 経理課 経営企画係

〒671-2288

兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号

TEL 079-266-1200

FAX 079-266-1206

E-mail [sanso@sanso-elec.co.jp](mailto:sanso@sanso-elec.co.jp)

11